

## 諏訪の子どもや教育を語る会

11月19日(土)に諏訪教育会館にて開催されました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえて、教職員のみで行われました。はじめに、溝口教育会長より基調提案があり、その後5つの分科会にて各校からの話題提供・自由討論が行われました。

### 【溝口会長挨拶・基調提案(一部抜粋)】



本会の趣旨は、「未来に向けて心豊かにたくましく生きる諏訪の子どもたちの育成に向けて、子どもたちの成長の姿や成長を支えていく上での課題等について、共に語り合い、考え合う機会とする」です。

現在、児童生徒の支援のあり方について課題となっていることはないでしょうか。このような課題を担任一人で抱え込むのではなく、学校がチームとなって取り組むことが必要なのは言うまでもありません。さらに、学校を取り巻く様々な課題に対して家庭・地域それぞれの役割と連携をもって解決していくことが一層不可欠な時代です。

その意味で、本日各学校より発表いただく内容は、課題解決に向かうための手がかりと密接にかかわるものであります。発表に絡めて各校の取り組みの成果や課題などを情報交換していただき、参会の皆さん一人一人に、あるいはそれぞれの学校に少しでも影響を与え、持ち帰っていただくものがある会となることを祈念いたします。

### 今年度の発表テーマ

第1分科会	保護者の方から教えてもらおう、お仕事紹介について(ふれあい参観日)	川岸小学校
第2分科会	地域の講師によるクラブ活動「ふれあい教室」の取り組み	米沢小学校
第3分科会	安全なメディア利用のあり方 (子どもとメディア信州によるアンケート調査の結果より)	境小学校
第4分科会	キャリア教育の視点で取り組む学力向上に向けた取り組み	岡谷北部中学校
第5分科会	地域と学校の連携~具体的なコミュニティスクールの取り組み~	東部中学校

### 【参加者の感想】

#### <第1分科会>

子どもたちにとって身近な存在である保護者のお仕事について、見たり聞いたりする経験はすごく貴重で素晴らしい取組だと思いました。保護者が仕事を通して感じたことや考えていることを子どもに話すこと、その言葉や行動から子どもたちが受ける影響や憧れはとても大きいものだと思います。このお仕事紹介の授業を通して感じたことが、子どもたちの学校生活や将来に大きく関わっていくのではないかと思います。

キャリア教育の具体的な事例としてとても参考になりました。親の仕事の価値や意義を真に理解することは、キャリア教育の視点だけでなく、親子間の絆を深めることにもつながり、すべて他者と繋がって生活が成り立っていることに気づくチャンスにもなります。本校に合う扱い方を探ってみたいと思います。

#### <第2分科会>

地域の方に学校に入っただけ意識に終始しがちですが、そのうしろに広い社会、多くの方々、学校と違うコミュニティが存在し、そこに繋がっていくことを感じました。「地域の方は、子どもを通してその向こうにいる保護者に、地元のことや伝承されてきた文化などを伝えたいと願っている」「学校で子どもたちに教え、その姿を地域に伝え広めてくれている」などのご意見から、学校、CS、地域をどのようにつなげていけばよいのか考える機会となりました。

本校では、子どもたちのやりたいことや職員が指導できることがクラブとして開設されていますが、米沢小学校のように地域に根ざした特色あるクラブ活動は、子どもたちが普段はできないことに触れ、新しい自分を知る、価値観をもつことに繋がっていると感じました。地域の方の熱い思いや、子ども・親世代に伝えたいことを繋ぐクラブ活動の大切さを改めて感じました。



### <第3分科会>

今我々が課題としていることと、便利な世の中に変わっている中で教育現場や家庭において子どもたちに生きる力としての知識や経験をつけることが大切であると感じました。様々な考えや見方がある情報の内容ですが、こういった意見交換の場で考えを伺うことができ、とても参考になりました。

他校の先生から情報をいただくことで、各校の取組を知ることができました。その上で、ICTの利便性と危険性や課題をどうしていくべきかを考えるきっかけを得ることができたと思います。また、「いろいろなことをネットのせいにしていないか」という参会者のご発言からも新しい課題を得ることができました。

### <第4分科会>

岡谷北部中学校と自校の取組を比較し、考えを深めることができました。話題になった「導入」部分については、自分としても悩みや迷いのあることだったので大変勉強になりました。根底にあるのは「相手を思う気持ち」だと感じました。仲間、地域の方、家族、そして自分自身も含め、「相手」「人」がキャリアの自覚のために大切な要素だと改めて感じました。



これまで、キャリア教育とは何か、その視点とは何かを考える場面は多くありましたが、この会での発表と先生方から教えていただいたことで、自分の中ではっきりしない答えを形にすることができたと思います。やはり、いろいろ教えてもらえる立場はいいなと感じます。

### <第5分科会>

本校は、学校支援コーディネーターの方が尽力してくださっていることに改めて感謝するとともに、組織が地域の重鎮方で構成されていることで、対応の早さ、アイデアの豊富さの点でも恵まれていることを感じました。次は、子どもたちからコミュニティスクールへ発信をして、地域や社会へ広めていくことができるようになると思返しにもなっていくと思います。地域と共に歩む学校をさらに進めていきたいです。

地域の方からの支えを受けるだけでなく、それをどう発信していくのが大切という意見がとても印象に残りました。本校では、文化祭で成果を発表する等の機会はありますが、それだけでは足りないのかもしれないと気づかされました。今後どうしていくべきか考えていけたらと思います。

会のあり方について、実際に対面で話し合うことで得られる学びが多かったという感想がいくつも見られました。本来なら、PTAや諸団体の皆様、地域の一般参加の皆様等、様々な立場の方が参集し諏訪の子どもや教育について語り合う会ではありますが、未来に向けて心豊かにたくましく生きる諏訪の子どもたちの育成に向けてともに語り合い、考え合う機会となったように思います。来年度は、さらに様々なお立場の方を交えて開催できることを願います。

## 令和4年度 稲荷御柱祭及び稲荷祭

11月12日(土)に、稲荷御柱祭及び稲荷祭を実施しました。今回は、来賓のお招きを控え、諏訪教育会、校長教頭組合、諏訪視聴覚ライブラリー、県教組諏訪支部、事前申込をされた会員の皆さんにて実施しました。新型コロナウイルス感染症再拡大のため、短縮日程となりましたが、無事執り行うことができました。



## 第70回 諏訪郡市教職員バスケットボール大会

この2年間は残念ながら中止となっていた教職員バスケットボール大会。現在、何とか開催できるよう計画が進んでいます。コロナ禍ではありますが感染予防や対策を十分にし、「練習や試合を通して学校内の団結と、学校間の親睦を深める」大会にしていきたいと思います。



### 【今後のスケジュール】

令和5年 1月12日(木) 主将会議 (於: 諏訪教育会館 16時より)

2月 4日(土) 諏訪郡市教職員バスケットボール大会

大会当日に審判をされる先生方にご参加いただく技術講習会は、1月の感染状況をふまえて実施可否の判断をさせていただきます。